

## 令和元年 第3回 原村議会定例会 一般質問通告一覧表

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	中村 浩平	1 村内の生活道路について	1 例えば臥竜公園から真っすぐ下る道路は、路面が大きく波打っている箇所が複数ある。また、津島神社から道祖神川に沿って下る道路の路面は、アスファルト部が相当下がり、コンクリート部と段差が6cmも生じている。このため特に自転車走行においては横転の危険性もあるが、なぜ直ちに修復しないのか、また、いつ修復する予定なのか。	村長
			2 村内の各所にあるこれら道路は、道路法第29条（安全かつ円滑な交通の確保）等に抵触していると考えられるが、修復計画は一体どうなっているのか。	村長
		2 職員の人事異動について	1 本村における人事異動の目的は何か。	村長
			2 人事担当係やその担当課長が関与せずに内示書が作成され、人事異動が実施されているが、これでは独善的である。人事も村の事務である以上、当然、組織的に行う必要があるが。	村長
			3 茅野市では人事担当係が発案したものを、担当課長、担当部長、副市長、市長ともんで行く。しかも3年から5年先を見越した人事計画案が作成されている。本村の場合、どうなっているのか。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	中村 浩平		4 一つの職場にずっと長くいる職員がいたり、数年の間に何度も異動させている職員がいて、非常に不公平さを感じる。一定の事務基準を作成して行うことが出来ないのか。	村長
		3 もみの湯の利用料金について	1 住民から利用料金値上げ（最大で6割以上）について苦情を聞いている。この案は昨年村長が提出したものであるが、元に戻すつもりはないか。	村長
			2 別荘所有者とその家族の利用料金だけ引き下げて運用していると報告があったが、議会の議決なく、特定の者の利用料金だけ引き下げることは条例違反ではないのか。	村長
			3 村内に住所を有する者の利用料金は値上げして、別荘の所有者とその家族は安くする。この道理は通らないと考えるが。	村長
		4 住民基本台帳法に基づく職務の執行について	1 住民基本台帳法第3条において「市町村長その他の市町村の執行機関は、住民基本台帳に基づいて住民に関する事務を管理し、又は執行する」となっているが、この台帳閲覧端末の無い課では、どのように事務処理を行っているか。	村長
			2 台帳閲覧端末の無い課では、住宅地図や古い電話帳等で住所を調べていると聞いているが、事実か。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	中村 浩平		3 役場からの発送物が旧住所のままであったり、死亡者名のままになっているのは、住民基本台帳に基づいて事務処理していないためではないのか。	村長
			4 各課、あるいは各施設に最低1台、台帳閲覧端末を設置し、職員全員が住民基本台帳に基づいて職務執行できるよう改善すべきと考えるが。	村長
		5 村の不祥事について	1 五味村政になってから、一体何回、不祥事に係る記者会見（記者発表を含む）をしてきたのか。	村長
			2 不祥事が多発した原因をどのように分析しているのか。	村長
			3 単に綱紀粛正を指示するだけでなく、具体的な防止策を何か講じたのか。	村長
			4 過去において発生した下水道使用料金の請求漏れ事件は、きちんと遡って徴収が完了しているか。また、受益者負担金も漏れなく徴収されているのか。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	中村 浩平	6 幹線道路の街路樹等について	<p>5 「新たに水道を使用開始したのに、半年近く料金の請求が無かった。」と複数の方から聞いているが、事実はどうなのか。</p> <p>1 諏訪南 IC から本村に入る窓口ともいえるズームラインの街路樹が、十分管理されておらず、種類や高さもバラバラで美しさを感じない。八ヶ岳の景観にマッチする背の低い樹木にし、種類を統一し、今後は行政で責任を持って管理すべきと考えるが。</p> <p>2 エコーライン沿いや原郵便局から西に下る道路の街路樹をきちんと剪定・整備し、高さもある程度、揃えるべきであると考えているが。</p> <p>3 原郵便局から西に下る道路において、長野県は八ヶ岳の景観に配慮して、標識、ガードレール、柵を茶系色で統一した。その後に村が設置した防犯灯は灰色のため違和感がある。茶系色に統一すべきではないか。</p> <p>4 村長は美しい村を標ぼうしているが、実際の村の対応とは相当な差異がある。街路樹の管理もそうだが、村の古くて汚い看板が村内各所に沢山ある。今後どのように対応しようと考えているのか。</p>	<p>村長</p> <p>村長</p> <p>村長</p> <p>村長</p>
2	佐宗 利江	1 移住後のサポートについて	1 移住者に対して、移住後の定着をサポートする体制が必要と考えるが、現状は。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
2	佐宗 利江		2 移住者相互の交流を促進するために、村主導によるコミュニティーづくりを進める考えは。	村長
		2 車のペダルの踏み間違いによる事故防止について	1 全国各地で車のアクセルとブレーキペダルの踏み間違いによる事故が発生しているが、村内や諏訪地域内での発生状況は。	村長
			2 このような事故の発生を未然に防ぐために、ペダル踏み違い防止装置の購入者に対して補助するなど、事故防止に向けて具体的な取り組みを検討されているか。	村長
		3 通年観光について	1 冬期間の観光客の集客状況は。また、集客に向けてどのような取り組みがなされているか。	村長
			2 今だからこそ、村の地域資源を活用して冬でも観光客を呼べるイベントの企画や開発を積極的に展開し、告知すべきでは。	村長
3	森山 岩光	1 一ノ瀬汐の管理について	1 近年、大型の台風上陸や集中豪雨が多発し、土砂の堆積・倒木・堤塘崩落などにより農業水源の確保に支障が出ているが、どのような防災対策が講じられているか。	村長
			2 一ノ瀬汐（八区）は、茅野市・原村地域に存する農地、水路等の地域資源、農村環境の保全を担っており、560haの水源となっている重要かつ歴史ある水路であるが、エリア内には災害発生が予測される箇所があるため、早期の対策が必要と考えるが。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
3	森山 岩光	2 村の教育について	<p>1 生徒のいじめ、不登校、ひきこもりの状況は。また、教員と生徒、保護者との関係（学習・相談・部活動・指導等）はどうか。</p> <p>2 教員は、生徒の部活動や教えること以外の仕事に多くの時間をとられているため、自分の技能を向上させたり生徒のより深い学びを促進したりする機会を設けることが困難と聞かすが、当村の状況はどうか。</p> <p>3 新聞、報道等ではわかに注目されている従来の固定担任制から全員担任制という仕組みは、生徒の悩みに最も適した教員が対応するなど、学級の風通しがよくなり、教師のやる気にもつながり生徒にも好評と聞く。この全員担任制についてどう捉えているか。</p>	<p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>
4	半田 裕	1 地域おこし協力隊員について	<p>1 10月末で原村初の地域おこし協力隊員の任期が終わるが、村として成果と課題をどうとらえているか。</p> <p>2 地域おこし協力隊員の活動の評価をどのように行っているか。村として目標や成果指標の設定を行っているか。</p> <p>3 地域おこし協力隊員の人件費以外の活動に要する経費はどのような予算が組まれているか。また、その予算は隊員が把握し、自由に使える仕組みができていないか。</p>	<p>村長</p> <p>村長</p> <p>村長</p>

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
4	半田 裕		4 現在、2名の協力隊員を募集しているが、住民が集うことでより地域との繋がりがづくりが可能となり効果的な活動ができるよう、役場内ではなく協力隊の拠点となる活動場所を検討してはどうか。 (例:下諏訪町「ミーミーセンタースメバ」、山梨県韮崎市「アトリエサンカク」)	村長
			5 より効果的な地域おこしを行うために、村内の人材活用による「集落支援員制度」を導入し、協力隊員と連携を図ってはどうか。	村長
		2 子どもの安全確保について	1 原村保育園や原っ子広場の送迎、図書館、公民館利用者の時間帯が重なると様々な方向からの車の行き来があり、登下校の子どもたちを含め安全性が確保できていないと考える。村としてこの周辺道路の安全確保をどう考えているか。	教育長
			2 保育園では、保護者が駐車場利用にあたってのルールを作成し周知をしているが、保護者以外の車はルールを知らないため危険な場面がある。村としてこのルールを周知する必要があると思うがどうか。	教育長
			3 今後、このエリアには子育て支援センターの建設も予定されており、より多くの人や車が集まることになると考えるが、将来的にこのエリアの安全確保も含めた検討がなされているか。	教育長
		5	北原 貴穂	1 村道の補修について
2 補修の優先順位について、防災の観点から、また、交通量等の定量的基準から検討されているか。	村長			

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
5	北原 貴穂		3 補修が後回しになっている箇所について、住民への説明責任は果たされているか。	村長
		2 舟山十字路登山口の整備について	1 誘客施設としての舟山十字路登山口の位置づけは。	村長
			2 登山口の設備として不足している案内板・トイレの設置や駐車場を拡張する考えは。	村長
6	宮坂 紀博	1 公共建築物の整備について	1 村の公共建築物の中には、原小学校教室棟（昭和 42 年建築）や役場庁舎（昭和 46 年建築）など耐用年数を迎え、建て替えが必要となるものがあるが、今後の整備計画は。	村長 教育長
		2 居住環境の整備について	1 平成 30 年の建築基準法の一部改正により確認を要しない特殊建築物の範囲が拡大されたが、これにより懸念される事項の対策は。	村長
			2 都市計画法の用途地域において、農地と調和した低層住宅に係る良好な居住環境の保護を目的とした田園住居地域が創設されたが、都市計画の指定を受ける考えは。また、持続可能な集約型都市構造の実現のため立地適正化計画を策定する考えはあるか。	村長
			3 昭和 56 年以前に建築された木造建築物を対象に耐震診断と耐震補強工事の補助を実施しているが、これまでの実績をどのように評価しているか。	村長



通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
7	平出 敏廣	1 プレミアム商品券について	1 現在の購入引換券申請状況は。	村長
			2 住民税非課税世帯の高齢者が何処でどう使えるのか不明のため申請をためらっていた人もいる。これまでに十分な説明がなされているか。また、問い合わせはこれまでにあったか。	村長
			3 今回、対象者が申請をして引替券と同時に利用対象店舗を知らせるとしたのはなぜか。取扱店舗募集を締め切ってから申請書の発送までには時間があり、事前に周知することができたのでは。	村長
		2 弓振川上流の土砂災害警戒区域について	1 県危機管理部で検討されている内容はどうなっているのか。	村長
			2 8月の長野県議会危機管理委員会による現場視察の内容は。	村長
			3 砂防堰堤工事に向けての計画内容は。(場所、工事日程、大きさ等)	村長
			4 この工事で警戒区域の全面解消にはならない。村として、今後どのような防災対策をどう進めるのか。	村長
			5 国は、市区町村の防災減災対策を加速させるために「国土強靱化地域計画」の策定を促進し、令和2年度は計画に明記された事業に補助金等を優先的に配分する方針を示している。村は、この計画を策定しているか。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
7	平出 敏廣		6 規模にもよるが、県の砂防施設を観光や小水力発電設備等に活用している地域がある。当村もその様な活用方法を検討する考えは。	村長
		3 県道沿いの歩道の管理について	1 県道御射山交差点から諏訪南インター間の歩道の継ぎ目に泥が貯まりそこに草が生え歩行者の通行に支障をきたしている。建設水道課で毎月巡回しているが、県道の保守依頼を管理者の県にしているか。	村長
		4 村長2期目に対する考えは	1 SDGs 持続可能な村づくりに向けての具体的内容は。	村長
			2 生まれてよかった、住んでよかった村とはどのような村だと考えるか。	村長
			3 村の財政が切迫している中で、歳入アップを図る計画が必要と考えるが。	村長
8	宮坂 早苗	1 ワークেশョンの環境整備について	1 長野県が働きながら休暇を楽しむワークেশョンの普及に向けた協議会設立に署名した。諏訪地域では茅野市と下諏訪町が賛同しているが、これに賛同する考えは。	村長
			2 観光連盟は、長期滞在観光に力を入れていると考えるが、安心して長期滞在ができる環境として、ビジネスと健康の維持は重要な要素となる。オフィスと健康維持のためのプログラムなどが可能な施設の整備に向けて、空いている施設や土地などを活用して環境整備を進める考えは。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
8	宮坂 早苗	2 自立のための持続可能な取り組みについて	1 移動手段としての公共交通のあり方について、デマンド交通（タクシー利用）、自家用車を使っての有償旅客運送、公有財産を利用した移動等がある。平成 29 年 6 月議会での質問に対して、住民の移動手段について研究するとの答弁があったが、その結果は。また、住民ニーズに対応した見直しの検討状況は。	村長
			2 若い世代の定住促進を図るために、若者定住促進事業の継続と拡充が必要ではないか。（空き家購入とリフォーム、18 歳未満の家族への補助金上乘せなど）	村長
			3 次世代の人材育成として、人づくり事業や奨学金制度の対象範囲を高校生・大学生に拡大しては。	村長
			4 財政確保と就業機会を創出するために、企業誘致を行う考えは。また、企業誘致と同様に企業連携の取り組み状況は。	村長
			5 総合計画と各種計画の整合性をとるには、期間を同じくすることが必要と考える。持続可能な村の計画が総合計画に合わせて実行されることが重要であると考えているが、今後計画時期や計画期間を合わせていくことは可能か。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
8	宮坂 早苗	3 住民提案制度の導入について	1 様々な課題解決に向けて、多くの住民が取り組んでいる現状がある。現状の共有と行政課題解決のために「住民提案制度」を導入してはどうか。	村長
9	百瀬 嘉徳	1 道路の計画的な補修について	1 村道の中には、舗装工事後 30 年以上経過し、舗装の収縮等で凸凹している箇所があるが、現状をどのように把握しているか。	村長
			2 村道の改修を計画的に実施すべきと考えるが、改修に向けての考えは。	村長
		2 字原山の地番について	1 原山地区は、分筆により同地番の枝番が 3,000 を超えるものや枝番続きでも点在しているものもあるが、行政上支障はないか。	村長
			2 原山地区又は村内全域を対象に国土調査法による国土調査を実施する考えは。	村長
10	松下 浩史	1 将来の原村を担う子どもたちにとって魅力的な村を考える機会を	1 「将来原村に帰ってきたいと思う」と答えた中学 3 年生が 10% 以下だったという少々ショッキングな話を聞いた。この現状をどうとらえるか。	村長
			2 子どもたちにとって「帰ってきたい村」になってほしいと考える。子どもたちの意見を聞く機会や子どもたちが村づくりに参画する機会づくりが必要ではないか。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
10	松下 浩史	2 関係人口拡大に向けての取り組みについて	1 原村ふるさと会のような、村を出ても村とのつながりを持ち続けられる団体は貴重だと感じる。高齢化に伴いふるさと会も色々と苦慮されていると聞くが、村としてどのようなことができるか考えるか。	村長
			2 原村ふるさと会に限らず、村と縁のある企業、団体やグループとの繋がりや交流を増やすことは大事と考える。今後、考えている取り組みがあるか。特に、若い原村出身者と、どのようにしたら繋がりをもつことができるか考えているか。	村長
		3 移住促進の取り組みについて	1 近年、移住希望者の世代やニーズなどに変化がみられるようになってきている。村の移住促進事業は、このような変化に対してどのような対応をとっているか。これまでに行った事業内容の見直しなど、具体的にお聞きしたい。	村長
			2 田舎暮らし現地見学会を開催し移住希望者を村に招いているが、日程の多くの時間が物件の見学にあてられている。年間で企画されている現地見学会の何回かを、愛媛県西条市で行われているような体験型ツアーとし、移住検討者の細かいニーズに対応できないか。	村長
			3 移住促進事業は、移住が決まれば完了ではないと考える。移住者の定着のための、困りごと、相談などのアフターフォローの体制は整っているか。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手